

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会
地上業務委員会（第 94 回） 議事概要（案）

1 日 時

令和 7 年 10 月 28 日（月）16:00～17:25

2 場 所

Web 会議

3 出 席 者（敬称略、順不同）

[委員・専門委員]

三瓶 政一（主査：大阪大学）、辻 宏之（主査代理：情報通信研究機構）、足立 朋子（東芝）、新 博行（NTT ドコモ）、飯塚 留美（マルチメディア振興センター）、大槻 秀夫（日本無線）、加藤 康博（日本電信電話）、山本 俊明（KDDI 総合研究所）、三田 貴子（富士通）、西岡 誠治（ARIB）

[関係者]

横山 隆裕（電波産業会）、川本 真紀夫（三菱電機）、佐田 彩夏（三菱電機）、小川 博世（NICT）、大槻 信也（NTT）

[事務局]

総務省移動通信課新世代移動通信システム推進室 影井室長、梅田課長補佐、
伊藤係長、川上官

総務省 基幹・衛星移動通信課 西森補佐、柴田係長、石田官

総務省 基幹・衛星移動通信課基幹通信室 藤岡主査、根本官

4 配 付 資 料

資料地－94－1	地上業務委員会（第93回）議事概要（案）
資料地－94－2	ITU-R SG 5 関連会合報告書（案）
資料地－94－3	ITU-R SG 5 関連会合への日本寄与文書（案）
資料地－94－4	ITU-R SG 5 関連会合の対処方針（案）
参考資料1	ITU-R SG 5 関連会合 開催案内
参考資料2	ITU-R SG 5 関連会合 日本代表団
参考資料3	地上業務委員会 構成員名簿

5 議 事 録

（1） 地上業務委員会（第 93 回）議事概要について

【資料地－94－1】

地上業務委員会（第93回）の議事概要について事務局から説明があり、意見等がある場合は、本日10月28日（火）中に事務局に連絡することとされた。

（2） ITU-R SG 5 関連会合の報告について

【資料地－94－2－1】

資料地－94－2－1に基づき、事務局よりITU-R SG 5 WP 5A第33回会合の報告が行われた。

【資料地－94－2－2】

資料地－94－2－2に基づき、事務局よりITU-R SG 5 WP 5B第34回会合の報告が行われた。

【資料地－94－2－3】

資料地－94－2－3に基づき、事務局よりITU-R SG 5 WP 5C第32回会合の報告が行われ、以下の質疑応答が行われた。

三瓶主査 ハンドブックの改訂について、タイトルがデジタルリレーシステムから固定無線システムに関するハンドブックになったということで、リレーシステムに限定されていた内容が固定系全体に拡張されたという理解でよいか。

大槻氏 然り。元々は中継系だけだったが、固定系全般にスコープを拡張することで合意された。

（3） ITU-R SG 5 関連会合への日本寄与文書案について

【資料地－94－3－0】

事務局より、ITU-R SG 5 WP 5A 第 34 回会合、WP 5B 第 35 回会合、WP 5C 第 33 回会合への日本寄与文書案の全体概要についての説明があった。

【資料地－94－3－1】

「ITU-R新報告草案M. [FUTURE-ITS]の作業文書の更新提案」について、電波産業会の横山氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、修正をすることとした上で承認された。

新構成員 Information-driven は形容詞であり、名詞が続くべきだが、これは名詞として使用している理解でよいか。

横山氏 然り。

新構成員 文中に 70-80%削減といった記載があるが、これは日本で実際に行われた検討結果か。

横山氏 然り。国内で実証実験をした際の数値。
新構成員 総務省の英語表記に誤りがあるため修正を。
横山氏 了。

【資料地－94－3－2】

「ITU-R報告M. 2442-1の改訂草案に向けた作業文書に対する修正提案」について、三菱電機の川本氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、修正をすることとした上で承認された。

山本構成員 追記ではなく更新であり、更新内容は日本のみ関係する箇所、他国から特段の反対はない見込みという認識でよいのか。
川本氏 然り。実態に合わせた更新を行う。
新構成員 A1.1 項の最後に、has launched と記載があるが、時期が明確になっており過去形で表現をするため has を削除してはどうか。
川本氏 了。
新構成員 当初のものとはイメージ図が異なったとのことだが、具体的にはどこか。
川本氏 当初は、列車に対し左右からビームを出していたが、現在は列車に対し前後からビームを出しているため。
三瓶主査 TABLE A1-18 の Multiplexing method にある FDD-TDMA の FDD は誤りではないか。
川本氏 了。FDM に修正する。

【資料地－94－3－3】

「レポート改定草案M. 2417-1に向けた作業文書への提案」について、NICTの小川氏から説明がなされ、特段の質疑応答はなく、承認された。

【資料地－94－3－4】

「ITU-R新レポート草案M. [RLS_231. 5-700GHZ]に向けた作業文書の修正提案」について、三菱電機の佐田氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

新構成員 想定される展開先にミュージアム等追加されるとともに、数が少ないため考慮しないと書かれている。前回会合で他国からミュージアム等を考慮する必要性について指摘されたのか。スタジアムではゲートがひとつではなく複数ゲートを考慮しなければならないと思うが、どの程度の数から検討が必要になるのか。
佐田氏 前回会合において、欧米ではミュージアムでの使用可能性があることと指摘されたことから追記した。数としては無視できる範囲となっている。スタジアムで同時に使用する台数については明らかで

ないが、イベントの時間が限られている点から、数として無視できると考える。

新構成員 承知した。現地の会合でも同様のコメントが出るのが想定されるので、その点ご対応いただきたい。

【資料地－94－3－5】

「新レポート草案 F. [FS. CHAR. 450-1 000 GHz]に向けた作業文書への変更案」について、NICT の小川氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、修正をすることとした上で承認された。

新構成員 5章の連続帯域に関する考察について、2行目に 1000GHz までキープされる理由として、it must be beneficial という表現があるが、ITU-R の文章では must 等の強い表現を使わないのが慣例である。そのため、must を使用しない形で修正するか、サーベイについては 1000GHz までで行っている等の表現で良いのでは。

小川氏 推察の意味で must を使ったが、誤解されるか。

新構成員 would で置き換えても通じると思う。

小川氏 了。would にする。

【資料地－94－3－6】

「レポート改定草案 F. 2416-1 に向けた作業文書への提案」について、NICT の小川氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、修正をすることとした上で承認された。

新構成員 本文で by the next WP5C meeting とあるが、next meeting が何を指すのか不明瞭だと思う。11 月の WP5C meeting と理解したので、next ではなく、November 2025 WP5C meeting と明記したほうが良い。

また、二段階格上げは反対する人が出ると思うが、前回の会合で preliminary にあげようとして、反対された経緯があるのか。その背景を教えてほしい。

小川氏 修正については、November meeting である。by ではなく、at を使用し、at November 5C meeting という形で修正したい。

二段階格上げについては、前回の会合ではそこまでの議論は行われなかった。作業文書化することが合意されたのみで、格上げ議論は皆無であり、その時点ではレポート改定草案に格上げする意見は出なかった。今回の二段階格上げ提案については、変更箇所が限定的であり、他の特性については変更されていないため、レポート改定草案としてキャリーフォワードする意味が無いと思われるためである。

【資料地－94－3－7】

「ITU-R 勧告 F. 2004 の削除提案」について、NTT の大槻氏から説明がなされ、特段の質疑応答はなく、承認された。

【資料地－94－3－8】

「ITU-R 勧告 F. 746-11 の改訂提案」について、NTT の大槻氏から説明がなされ、以下の質疑応答の後、承認された。

新構成員 Table 2 の修正について、F. 2004 は廃止と理解したが、その表の一番右のコラムでは、チャンネルセパレーションが 50、100 と 100 の倍数となっている。新しく作られる W バンドの勧告では 250MHz ごとの間隔になっているため、F. 2004 のパターンの 50 や 100、100 の倍数の一部については W バンドではサポートされていないと思われる。

F. 2004 で考えた、50 や 100 といったチャンネルセパレーションは標準化的には不要で、削除しても問題ないという理解でよいか。

大槻氏 然り。実際には使われていないので、2023年9月のSG5会合で、早めに削除しようとした。

(4) ITU-R SG 5 関連会合の対処方針案について

【資料地－94－4】

ITU-R SG 5 WP 5A第34回会合、WP 5B第35回会合、WP 5C第33回会合の対処方針(案)について、事務局から説明が行われ、特に質疑なく承認された。

(5) その他

参考資料について、事務局から説明があった。

以上